2022年度　日本工学院専門学校

ダンスパフォーマンス科

カレッジプロジェクト

対象	２年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	井口雅人/野中志乃			実務経験	有	職種	音楽プロダクション制作業務				

担当教員紹介

ダンススタジオにて店舗運営管理・ダンサー育成業務・キャスティング業務等幅広く実務を経験。マットピラティス指導者資格、コンディショニングコーチ認定などダンサーのセカンドキャリアに役立つ資格を有する。

授業概要

クラス単位で実施し、普段接する事が少ない学生で出来るだけチームを組んで実施する。学内施設もしくは外部会場を使用してライブイベント、発表会、レクリエーション等を実施。1年次に学んだ技術・知識を生かして自身が選択するコース、専攻以外を基本的に選択し果敢に挑戦して行く事。改めて他分野を学ぶので分からない所を学生間で教え合い一つのイベントを成立させる事が最大の目的である。

到達目標

基礎実習期間を振り返る事で他分野の学びを改めて理解する事。学生間で教え合う事で楽しみながら安全に留意して実施する事が出来る能力を育成して行く。

授業方法

クラス単位で実施し、クラスの結束を更に高める時間として設定する意味とコース別実習、専攻では学べない他分野に挑戦する事で他者理解を深め2年間の集大成イベントを成功に導くための布石となるイベントを学生達に考えせて実行する。

成績評価方法

平常点　100%　積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

学生のイベントではあるが、学園祭のノリにならないために「企画書」「プレゼンテーション」をチームごと実施させイベントの効効果測定を行う事でどこまでの理解度と個人の貢献度を図る。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

必要に応じて準備する

回数	授業計画
第1回	趣旨説明＆チーム編成/他分野、普段接点の無い学生でチーム編成
第2回	事前準備１/企画からプレゼンテーション
第3回	事前準備２/出演者、必要機材、セッティング図、セットリスト、舞台進行、リハーサル、本番進行の理解
第4回	イベント運営/イベント実施
第5回	結果報告・レポート作成/結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる